

第2学年算数科「形Monster図鑑をつくろう！ ～三角形と四角形～」

学習指導者 井下 修一

形Monster（三角形や四角形などの図形）を分類し、形図鑑に位置付けることができた子供たちに、他の形Monsterの存在を伝えることで、弁別して形図鑑をつくる意欲を高め、「形Monster図鑑をつくろう」と単元の目標を設定しました。そして、弁別する視点を増やして図形概念の理解を深め、様々な形Monsterを弁別して形図鑑に増やしながらか学びを進めていきました。

合体進化した形Monsterも、仲間分けできるかな

【見通し】

本時の初めには、前時の学習を振り返り、弁別する際には直角や辺に着目することが大切だったことを確かめました。

そして、黒板マン（長方形）2体が合体した形Monsterの存在を知り、弁別の意欲を高め、

課題を設定しました。その後、補助黒板

や形センサーで見る視点などを確認し、本時も同じように辺や直角などに着目して弁別していけばよいと解決の見通しをもちました。



【行動】

長方形二つで構成された図形について、図形の定義を根拠にして、形センサーで辺や直角に着目しながら、弁別した理由を演繹的に説明していきました。

そして、合体進化した形Monsterも直角や辺に着目すると、正確に弁別できることを確かめました。その後、

形Monsterや構成の仕方を変えて合体進化

しても弁別できるか考えていく活動を通して、条件が変わっても直角や辺に着目すると弁別できることに気付きました。



【振り返り】

「もし別の形Monsterだったらと考えたら、辺や直角を見て仲間分けすることがいつでも使えると分かった」

や「〇〇さんと形センサーで角が直角か調べると、正確に仲間分けできた」などと分かった・できたことや友達と関わってよかったことを記述し、発表していきました。そして、本時の授業

写真を見返しながら、友達と関わり合いながら学べたことを確認しました。

その後、「もっとたくさん形Monsterが合体すると、どんな仲間になるのかな」と次時の問題を発見しました。



成果と課題

○単元の目標に向けて、子供たちで学習課題を設定し、形センサーを使いながら意欲的に弁別する姿が見られた。「今まで勉強したことだから、同じように使えそうなことを考える」という自己調整する方法を想起し、使うことができていた。

▲長方形が合体してできた辺が直線かどうか判断することに時間をかけ過ぎた。本時、大切にしていた図形の定義を根拠にして、弁別した理由を演繹的に説明することに多くの時間をかけられる方が深い学びへつながっていくのではないかな。